

生きる力をはぐくむ摂食と口腔ケア

～健康な歯・口でおいしく楽しく安全に～

神奈川県立茅ヶ崎養護学校

本校は、肢体不自由教育部門（小中高）、知的障害教育部門（小中高）、施設訪問育療学部を併置する特別支援学校です。「一人ひとりが輝く教育」を学校目標にかかげ、「地域にねがず開かれた学校」という理念のもと、自立と社会参加をめざした教育を行っています。

『生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業』では、多様なニーズのある児童生徒一人ひとりが、楽しく安全に食べる力、健康を維持する力をつけることをねらいとし、「摂食」「口腔ケア・口腔管理」の2本の柱で、専門職による検診や相談などの充実・拡大、教職員の研修に取り組んでいます。

令和元年度の取組 2本の柱

● 摂食研修会

職員・保護者・療育に携わっている地域の方を対象として、茅ヶ崎歯科医師会の歯科医師による、口腔機能の発達に関する研修会を開きました。

● 摂食相談

茅ヶ崎歯科医師会の歯科医師による摂食相談を実施し、食形態、食べ方、介助方法などについてアドバイスを受けました。

● 摂食に関する教職員研究

- ・ 肢体不自由教育部門 小中学部、高等部
- ・ 知的障害教育部門 小中学部

〔児童生徒の実態把握〕

児童生徒の給食の様子をビデオに撮り、言語聴覚士からアドバイスを受けながら摂食機能の評価などを行いました。

〔摂食に関する研修〕

口腔機能の発達、食事の際の姿勢、介助方法、配慮食の作り方など、摂食に関する専門知識を学んでいます。



摂食

口腔ケア
口腔管理

専門職による
検診・相談・研修

教職員の
研究活動

● 歯科衛生士による歯科保健指導

年間、延べ8名の歯科衛生士が、講話や染め出し、ブラッシング指導を行っています。



● 歯科検診の工夫、再検診

児童生徒がリラックスして受診できるように、BGM やアロマを使った環境作りを、学校歯科医が行っています。また、受診勧告をした児童生徒には、2学期に経過観察の再検診を行っています。

● 口腔ケアに関する教職員研究

- ・ 知的障害教育部門 高等部
- ・ 育療学部わかば学級

〔生徒の実態把握〕

生徒の給食後の歯みがきの様子をビデオに撮り、歯科衛生士からチェックポイントや指導方法についてアドバイスを受けました。

〔アセスメントシートの作成〕

生徒一人ひとりの歯みがきの課題をつかみ、指導に活かすため、アセスメントシートを作成しています。

氏名	性別	年齢	歯みがきの課題	指導方法	評価
山田 太郎	男	15	歯みがきの姿勢が正しくない	鏡をもちながら正しい姿勢を指導	改善あり
田中 花子	女	14	歯みがきの時間が短い	タイマーをセットして時間を意識させる	改善あり
佐藤 健太	男	13	歯みがきの回数が少ない	歯みがきの重要性を講話で伝える	改善あり
鈴木 美咲	女	12	歯みがきの道具の扱いが苦手	歯ブラシの正しい持ち方を指導	改善あり
高橋 大輔	男	11	歯みがきの音が苦手	音楽を流しながら歯みがきを行う	改善あり
伊藤 莉子	女	10	歯みがきのペースが遅い	歯みがきのリズムを指導	改善あり
渡辺 拓也	男	9	歯みがきの回数が多い	歯みがきの回数に制限を設ける	改善あり
山崎 真由	女	8	歯みがきの姿勢が正しくない	鏡をもちながら正しい姿勢を指導	改善あり
中村 翔太	男	7	歯みがきの時間が短い	タイマーをセットして時間を意識させる	改善あり
小林 千尋	女	6	歯みがきの回数が少ない	歯みがきの重要性を講話で伝える	改善あり
高木 悠太	男	5	歯みがきの道具の扱いが苦手	歯ブラシの正しい持ち方を指導	改善あり
藤田 美穂	女	4	歯みがきの音が苦手	音楽を流しながら歯みがきを行う	改善あり
佐々木 大輔	男	3	歯みがきのペースが遅い	歯みがきのリズムを指導	改善あり